

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 登別観光振興特別対策事業補助金
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	2	心と体を癒す観光のまちづくり
主要な施策	1	広域連携による濃密な情報発信
事務事業番号	001	事務事業コード 31121001 事業開始年度 平成 6 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	観光振興特別対策事業補助金
------	------	------------	---------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室 観光振興 G
-----	-------	-------	------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) (社)登別観光協会
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 観光協会が実施する各種イベント、広告宣伝、国内外の誘客キャンペーン、パンフレット・ポスター等の製作、観光施設の整備等に対し補助金を交付し、観光客の誘客を図り、以って市内経済の活性化を図る。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 観光客の入込みが増えることで市内経済の活性化が図られる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	誘客活動(国内外誘客キャンペーン等)	回	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	50				
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	41,900	41,900	41,900	41,900	41,900	125,700
合 計				41,900	41,900	41,900	41,900	41,900	125,700
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	173	181			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		173	181			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 登別市の基幹産業である観光産業の振興を図るための活動している(社)登別観光協会を市で支援することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 国内外への積極的なPR活動や「鬼花火」「鬼火の路」「泉源公園での盆踊り大会」等の長期イベントを実施し、誘客効果が得られたと考えられる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 観光はPR効果が計りにくい産業であるが、継続して長期イベントを実施し、地域に根付いたイベントにすることで、より質の高いPR活動につながっていると考えられる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト(予算や人工、所要時間)を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ (社)登別観光協会が実施している各種取り組みを継続するためには最低限必要であり、これ以上のコスト削減は難しい。

## 担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	市の基幹産業である観光産業を図るために今後も、維持すべき事業である。
----	----------------------	------------------------------------

## 総合的な評価(当該事務事業の方向性)

維持	備考
----	----

### 評価の種類

- 拡大(事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業)
- 維持(現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業)
- 改善(現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業)
- 休止(暫定的に休止する事務事業)
- 終了(当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業)
- 廃止(当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業)